

英語が苦手な生徒も理解出来る！

超かんたん英文法！

はじめに

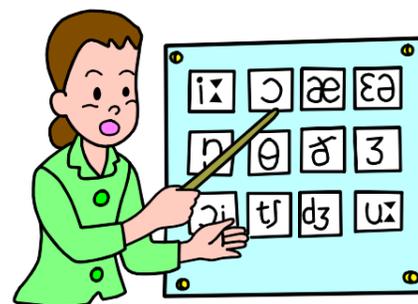
この「超かんたん英文法」は、英語が苦手な中学生が、英語が得意になり、英語が好きになってもらうためのテキストです。

簡潔な説明とかんたんな単語で構成され、
脳の記憶のメカニズムを利用して、
英文法をかんたんに理解出来るよう工夫されています。

また巻末には、
「発音記号」
「不規則動詞」
「アクセント」
「反意語」
「イディオム」

などを効率よく覚えられるように暗記表がついています。

このテキストで、
英語が得意になってくれる生徒が
1人でも増えてくれることを
願っています。



目次

章	内容	ページ
	このテキストの特徴と使い方	2
第1章	be 動詞(基礎編)	3
第2章	be 動詞(応用編)	4
第3章	一般動詞(基礎編)	5
第4章	疑問詞	6
第5章	命令文	7
第6章	冠詞・名詞・代名詞	8
第7章	一般動詞(応用編)	9
第8章	前置詞	10
第9章	進行形	11
第10章	助動詞(基礎編)	12
第11章	過去形	13
第12章	助動詞(応用編)	14
第13章	to 不定詞・動名詞	15
第14章	There is の文	16
第15章	比較(基礎編)	17
第16章	比較(応用編)	18
第17章	受け身	19
第18章	現在完了	20
第19章	分詞	21
第20章	関係代名詞	22
	発音記号を覚えよう	23
	高校入試対策①～⑥	24-26
	解答	27-46

第1章 be動詞 (基礎編)

できるだけ、短く簡潔な文章で、必要事項を解説しています。

① 単数と複数

単数とは1つ、複数とは2つ以上を表します。

例) 彼 = 1人 = 単数 彼ら = 2人以上 = 複数

単数か複数か、正しい方に○をつけましょう。

- 1. 私 → 単数 複数
- 2. 私達 → 単数 複数
- 3. 伴田来未 → 単数 複数
- 4. 1冊の本 → 単数 複数
- 5. 5冊の本 → 単数 複数
- 6. 私と花子 → 単数 複数

② be動詞とは?

be動詞とは、**am[アム]**、**is[イズ]**、**are[アー]**のことで、「**です**」という意味です。英語では、この3種類の「です」を次のように使い分けます。

am → 1だけにつく 例) 私は先生**です** → I am a teacher.

is → 単数につく 例) 彼女は先生**です** → She is a teacher.

are → 複数とyouにつく 例) あなたは先生**です** → You are a teacher.

- 1. あなたは学生です → You () a student.
- 2. 彼女は学生です → She () a student.
- 3. 彼は学生です → He () a student.

③ 「～ではありません」

「～ではありません」という場合、**be動詞の後にnot** をつけます。

例) 彼女は先生**ではありません** → She is not a teacher.

- 1. あなたは学生ではありません → You () () a student.
- 2. 彼女は学生ではありません → She () () a student.
- 3. 彼は学生ではありません → He () () a student.

④ 「～ですか?」

「～ですか?」という場合、**be動詞を文の頭**につけます。最後は上げて読みます。

例) 彼女は先生**ですか?** → Is she a teacher?

- 1. あなたは学生ですか? → () you a student?
- 2. 彼女は学生ですか? → () she a student?
- 3. 彼は学生ですか? → () he a student?

⑤ 質問の答え方

「はい」はYes[イエス]、「いいえ」はNo[ノウ]です。

脳の記憶のメカニズムを利用し、当日・3日後・1週間後・2週間後・1ヶ月後の計5回チェックすることで、学習した内容を確実に自分のものにしましょう。

- 誰が **です** → Yes, she is. No, she is not.
- 誰が **ではありません** → Yes, I (). No, she () ().
- 誰が **ですか?** → Yes, he ().

この章のまとめです。「答え」の部分の隠し、問題に答えて下さい。答えたら、チェック欄に○×をつけ、×になった箇所はその番号の解説をもう一度読んで理解しましょう。

チェック	問題	答え
	① 単数とは?	1つ
	① 複数とは?	2つ以上
	② Iだけにつく be動詞	am
	② 単数につく be動詞	is
	② youと複数につく be動詞	are
	② 彼女は先生 です	She <u>is</u> a teacher.
	③ 彼女は先生 ではありません	She <u>is not</u> a teacher.
	④ 彼女は先生 ですか?	<u>Is</u> she a teacher?
	⑤ <u>はい、そうです</u>	<u>Yes, she is.</u>
	⑤ <u>いいえ、違います</u>	<u>No, she is not.</u>
	← チェックした日	
	← 間違った数	

第1章 be動詞 (基礎編)

名前

1. ()を埋めましょう。(説明①②参照)

- ① 私はイチローです → I () Ichiro.
- ② 彼はイチローです → He () Ichiro.
- ③ 私はヒカルです → I () Hikaru.
- ④ 香川はサッカー選手です → Kagawa () a soccer player.
- ⑤ 私達は日本人です → We () Japanese.
- ⑥ 彼女はヒカルです → She () Hikaru.
- ⑦ ゆいは歌手です → Yui () a singer.
- ⑧ 彼らは日本人です → They () Japanese.
- ⑨ これはポチです → This () Pochi.
- ⑩ あれはポチです → That () Pochi.

通常の問題集だと、ページが進むにつれ、単語のレベルも上がり、分からない単語が並んでいるだけで、学習すべき文法事項を難しいと錯覚してしまいます。

このテキストでは、基礎的な単語だけを使って、文法の理解力を高めることが出来るように構成されています。

2. ()を埋めましょう。(説明③④参照)

- ① 私はイチローではありません → I () () Ichiro.
- ② 彼はイチローではありません → He () () Ichiro.
- ③ 私はヒカルではありません → I () () Hikaru.
- ④ 香川はテニス選手ではありません → Kagawa () () a tennis player.
- ⑤ 私達は日本人ではありません → We () () Japanese.
- ⑥ 彼女はヒカルですか? → () () Hikaru?
- ⑦ ゆいは歌手ですか? → () () a singer?
- ⑧ 彼らは日本人ですか? → () () Japanese?
- ⑨ これはポチですか? → () () Pochi?
- ⑩ あれはポチですか? → () () Pochi?

また、どのページも高い正答率で答えられるようになっていたので、生徒の自信にもつながります。

3. ()を埋めましょう。(説明⑤参照)

- ① Is he Ichiro? → Yes, () ().
- ② Is he Ichiro? → No, () () ().
- ③ Is she Nanako? → Yes, () ().
- ④ Is she Nanako? → No, () () ().
- ⑤ Are they BEATLES? → Yes, () ().
- ⑥ Are they BEATLES? → No, () () ().
- ⑦ Is he a singer? → Yes, () ().
- ⑧ Is he a singer? → No, () () ().
- ⑨ Are you a teacher? → Yes, () ().
- ⑩ Are you a teacher? → No, () () ().

分からない項目は、もう一度、この番号の解説を読みましょう。

4. 並べ替えましょう[不要な語が1語あります]。(説明②～⑤参照)

- ① 彼は遼です (Ryo/ am/ is/ he) → _____
- ② あなたは学生ですか? (you/ a student/ is/ are) → _____
- ③ 私はアキ子ではありません (I/ not/ Akiko/ is/ am) → _____
- ④ Is he a student? はい、そうです (he, is, Yes/ not) → _____
- ⑤ Is he a student? いいえ、違います (No/ not/ he/ is/ she) → _____